



# なかよし通信

発行者: 公明党豊島区議団一東池袋1-18-1区役所内公明控室

## 区民の声を取り上げる!

《ごあいさつ》

日頃からお世話になり誠にありがとうございます。豊島区議会がとうございませう。豊島区議会平成二十三年第三回定例会が十月二十八日閉会しました。

私は、公明党の決算委員として、区民の切実な声を取り上げ、諸課題について、区の施策を糺し、様々提案しました。

また、一般質問では、公明区議団から提案した施策が実現することができました。今定例会での決算委員会での私の発言要旨と区議団の実績をダイジェストでご報告します。大震災後の復興支援、豊島区の防災対策強化など多くの課題に全力で取り組んでまいります。引き続きのご指導、ご鞭撻を心からお願い申し上げます。

豊島区議会公明 中島よしはる



## 給食食材の調査を明言、区内全公園の線量測定開始

公明区議団は、学校等給食食材中の放射性物質を心配されている保護者の皆様の切実な声を受けて、今定例会の一般質問で取り上げました。

高野区長からは、10月中旬から保育園9園、小学校9校、中学校3校において、調理後の食材を混合したものと牛乳について、専門検査機関に委託し測定すると答弁がありました。

更に、区内でも高レベルの放射線が測定される事態を受け、区内全公園60か所、区民の森2か所、児童遊園88か所、仮児童遊園8か所、合計158か所において空間放射線測定を実施することになりました。測定結果は、庁舎等での掲示、区ホームページ、「安全・安心メール」等によって公表されます。

★10月28日の全員協議会では、同検査の中間報告があり、全てにおいて規制値以下・不検出だったことが報告されました。中島義春と公明区議団は、未来の宝である大事な子どもの生命を守る取り組みを更に進めてまいります。



©NEW KOMEITO

## 聴覚障がい者へ緊急事態を知らせるパトランプ設置!

パトランプ設置!

3・11東北大地震直後に聴覚障がい者の方から情報が伝わらず、不安の声が寄せられました。公明区議団が早速議会でも取り上げ区に要望。それによりパトランプ（赤ランプ）が点滅し、障害を持つている方に緊急性をお知らせするシステム設置が決定しました。あわせて本庁舎をはじめとする中央・東・西保健福祉センター・心身障がい者福祉センターの5箇所にて電光表示によって文字が示され、非常時に緊急避難できる取り組みが始まります。また、防災行政無線が聞き取れない対応策として、電話で放送内容を確認できる「テレホンシステム」が導入されることになりました。



©NEW KOMEITO

また、公明党が推進した『がん対策推進条例』により、検診率が大幅に上がったことを評価し、子宮けいがんや乳がん検診に加え、前立腺がんの取り組みを更に進めていくために、自己負担を軽減することを訴え、区側は今後、検討していくと確約しました。また、子宮けいがんワクチンの全額助成が中学生対象のところ、高校生まで拡大するように要望しました。

拡がん検診の助成!



公明党区議団は、決算委員会でワクチン接種の助成事業の拡大を強く要望しました。その結果区側から、新たに水痘・おたふくの接種事業を開始すると回答がありました。子どもの生命を守る提案を更に進めていきます。

水痘・おたふくの接種助成開始

## 高齢者訪問事業！

## 地域で高齢者の見守りを

高齢者の訪問見守り事業・アウトリーチ事業について、区内約59,00名の高齢者のうち一人暮らしが3分の1いるという豊島区の特異性の現状を確認して、官・民での見守りの徹底を強く要望しました。昨年開始した、アウトリーチ事業で、支援が必要な方への具体的な取り組みがこれから本格的になることから、直接家庭訪問の有効性を最大限に生かすと同時に、地域での見守りに区が取り組むことを要望しました。

また、365日、24時間見守りの「緊急通報システム」の条件緩和により、今年度、急増したことで、より生活に根差した、見守りの環境作りを要望しました。区側からは、一層の取り組みを明言しました。



## 震災・減災対策に取り組め！

## 住宅の耐震助成！

3・11以降、公明党が要望した、住宅耐震診断、耐震改修、耐震シェルター、集合住宅耐震等助成事業拡大について言及しました。東北大地震以降、診断、改修、シェルター等同事業が順調に伸びており、更なる広報を要望。更に、新しい耐震改修助成事業について木造密集地域の方が利用する場合、「改修」ではなく、「新築」を考える方が多いが、「新築」であるとその助成が受けられない問題を指摘。現場に即して「生命を守る」助成事業として取り組むことを強く要望しました。

## 橋の安全を守れ！

震災に備えて豊島区内の橋梁の長寿命化事業について確認しました。昭和34年建設された西巢鴨橋、昭和40年建設された空蟬橋など50年を経過した橋梁の長寿化に取り組み、安全を図るよう要望。更に、橋改修時に高齢時代のバリアフリー対応を要望しました。特に西巢鴨橋は歩行者用の階段が急傾斜であり、改修時にはバリアフリー化を強く要望しました。区側から充分配慮して取り組むと答弁がありました。



## 中小企業対策

中小企業支援策の充実を要望。まず区の中小企業実態調査が平成21年1月以来、実施されておらず、リーマンショック、大震災、円高の大きな経済動向における区内企業の詳細な調査を要望しました。続いて中小企業の経営相談に加えて金融の相談も行うことで開始されたビジネスサポートの有効性について評価。商工・信用保証協会OB・金融コーデイネイトの3本柱で中小企業を応援して、区内事業者の支援に更に取り組むことを要望しました。区側は現状を把握して支援をしていくと答弁しました。

## 行政評価でムダ削減！



22年度決算では、土地開発公社の隠れ借金33億円を一括返済して財政の健全化に資する一方で、収支比率の悪化が懸念される現状を確認。震災後の歳入不足も心配されるなか、今後の財政運営を考えた場合、中島義春と公明区議団が主張してきた、『行政評価』が財政改革に有効なところから、その活用と更なるムダ削減を訴えました。区側は、行政評価で行政改革に取り組んでいくと答弁しました。

## 中島よしはる連絡先

自宅TEL3910-1493 事務所TEL6802-5948  
中島e-mailアドレス [y\\_nakaji@toshima.ne.jp](mailto:y_nakaji@toshima.ne.jp)  
中島公式hp <http://www.nakajima-y.jp/>

## 【公明党無料法律相談ご案内】

毎月第1、第3木曜日、14時から。  
区役所4F公明控室 TEL 3981-1428  
e-mail: [toskomei@toshima.ne.jp](mailto:toskomei@toshima.ne.jp)